



2022年10月発行  
 社会福祉法人 ありのまま舎  
 (障害者自立企画)  
 発行責任者 白江 浩  
 編 集 佐藤 環  
 〒982-8544  
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1  
 TEL022(243)1300  
<http://www.arinomama.or.jp>  
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

### 自立センター活動報告 ～バザー会の様子～

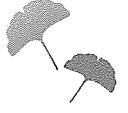
新型コロナウイルスが流行して約3年。バザー会は当初中止を余儀なくされましたが、緊急事態宣言が明けたころからは、野外での活動ということもあり、各会場で再開させていただきました。コロナ禍でスーパーなどでは小人数での来店の周知があるため、いつも顔を出してくださっていた方は少なくなりました。最近新しいお客様が足を運んで下さり、人気商品の古着や古本など良い商品を早く見つけようと三十分前から待っていてくださる方もおられます。一方で全体的にお客様が減少したため、瀬戸物や漆器、雑貨などの方は売り上げが戻らず苦戦しています。

皆様からは温かい声もたくさん頂きます。「コロナ禍でどこにも出かけられなくなりました。バザー会が一番の楽しみ。」と声をかけて下さった方もおられました。暑くてもしっかりマスクをされ、たまに水分補給の声がけもしながら、これまで感染された方もなく、参加されるおひとりおひとりが気を付けてくださっていることを有難く思っています。

バザー会はおお客様と直接交わり、活動を知っていただく事、運営費の捻出を目的に開所当初から続けてきた大切な活動です。コロナでバザー会の様子は変化しましたが、コロナを乗り越え、新たなバザー会の形として継続していきたいと思えます。



市内スーパーの店頭前をお借りして、週2回開催しています。場所の詳細は5ページをご覧ください。ぜひ掘り出しものを見つけにお立ち寄りください。(川尻誠)



### 薫る風

優生保護法の下で、不妊手術等をご本人の同意なしで行なわれ、その人権や出生の機会を奪われた多くの障害のある人が訴訟を起こしている。私自身その当時抗議活動に参加したことがあった。優生思想は最近まで、法的にも厳然と公認されていた。私は優生思想と対をなす思想・考えをケア思想と呼び、話をさせて頂いたり、このコーナーを始め機会があれば書かせて頂いた。最近ゲノム編集が身近な研究となり、海外では既に体内の病気の原因遺伝子を壊すことに成功したと世界で初めて報告されている。出生前診断については、更に身近なテーマとして議論されている。そこに潜む「差別や排除、命の選別」等の課題と共に、病いに苦しむ患児・者、家族等の願いがあることは、多くの人が承知している。その上でどうするか。優生思想による不妊手術と同一に語ることはできないが「命の選別」の可能性は否定できない。そして、その責任は個々に委ねられ、そこに潜む課題も個々が背負うことになる。全ゲノム解析等実行計画が国の方針として検討されている。難病患者にとつてゲノム解析によって原因や治療法が見出される可能性があり、期待する人は少なくない。賛否それぞれの気持ち、思いを受け止め、ひとりひとりが考えなければならぬ。正誤ではないと思う。今日を生きる私たちの「生」が問われていると思う。ゲノム編集とゲノム解析、出生前診断、優生思想。既に他人事ではない次元で個々に問われている。全ての人が何らかの遺伝子変異を持つといわれている。私自身、建前と本音が交錯するが、今思うことは、どんな障害や難病であっても差別や排除のない生きやすい社会にしなければならぬことと、立場や貧富等も含めその意思決定が公平にできる社会が前提にあつて欲しいと思う。

(白江浩)

### 社会福祉法人ありのまま舎 評議員選任・解任委員会 開催

9月2日(金) JALシティ 仙台にて「評議員選任・解任委員会」を開催しました。この度、2名の評議員から退任の申し出があり理事会にて候補者の審議を行い、委員会に2名の推薦がありました。評議員選任・解任評議員の審議を行い全会一致で承認されました。新たに評議員に御就任いただいた方です。

【岩城彰氏】  
東北放送株式会社取締役  
(地域・マスメディア)

【工藤清美氏】  
福祉・教会関係  
(地域・ヴォランティア)

ご指導をよろしくお願いいたします。



評議員選任・解任委員会

この度の評議員選任・解任委員会では委員の変更がありました。5名の委員の皆様をご紹介させていただきます。

【阿部一彦委員】  
日本身体障害者団体連合会会長  
長・仙台市障害者福祉協会会長

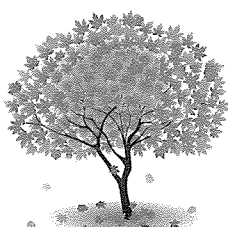
【櫻井陵子委員】  
荒総合法律事務所 所属  
社会福祉士

【湯村利憲委員】  
社会福祉法人  
臥牛三敬会理事長

【小山良就委員】(監事)  
社会福祉法人  
ありのまま舎監事

【佐藤環委員】(事務局)  
ホームケア仙台ありのまま舎  
リビングセンターホーム長

今後ともよろしくお願いいたします。



### 【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】 避難訓練を行いました！

9月12日(月)夜間を想定した避難訓練を実施しました。夜にボイラー室から出火した想定で宿直者が入居者の避難誘導を行いました。非常ベルが鳴り宿直者1名が避難通路の確保、館内放送、出火場所の確認、初期消火、避難の誘導と介助が必要な方への対応を行いました。

今回は5名の入居者が訓練に参加され夜間想定のためベッドに横になった状態から開始しました。

今年、新しく2名の方が入居され2回目の避難訓練となりました。前回外に車椅子で出る際にどちらの窓から出た方が良いかが課題にありましたが、荷物が支障にならず待機しやすい

場所を決め、前回より焦らず、流れを把握しながら避難することができました。

7名の入居者のうち4名の方がスタッフの介助が必要な方です。その方の状態を把握し、どんな介助がどれくらい必要かというのを毎回分析し、避難の優先順位を確認することが重要になります。そのために事前に入居者おひとりおひとりと前回の变化や避難経路の確認をさせていただき避難誘導に活用させていただきます。

また、万が一火災が起きた場合は、地域の方の協力は不可欠です。地域の方との訓練も検討しながらより実践に近い訓練を行っていききたいと思います。  
(佐藤環)



徒歩で避難する入居者の方々



車椅子の方は窓から避難誘導

## 在宅介護を応援します!!

# ケーアイ調剤薬局

〒982-0031 仙台市太白区泉崎1丁目34-16

Tel・Fax 022-743-3161

【サポーターケア仙台ありのまま舎  
（難病・障害者相談支援センター）】

計画相談支援を利用いただき入所施設を利用しているお二人の方から今後の暮らしの希望についてお聞きしました。お二人とも共通の希望として「将来は施設ではなく地域で暮らしたい」との希望とともに、それに向けてご自身でできることを考え協力してもらえらる方とつながりを持つたりといったことをしていることなどを伺いました。

希望の実現に向けて、本人の思いを第一に考えていくことは勿論のことですが、お二人ともに家族他支えてくれている身近な方たちの思いも思いめぐらせながら何ができるのかを考えられ、調べた情報の整理などに取り組まれていることもお聞かせいただきました。

重い障害のあるお二人にとつて、これまでの生活の経過などを振り返りながらも自己実現に向けた前向きな思いを大事にされています。お二人ともケアの体制が上手く確保できるのだからか？とお話が出ていました。暮らしを進めていく上で生活全般を支えてくれる身近な支え手の確保はとても気になる部分だと思います。他にも色々と考えていることの中で、一緒に知恵を出し合っていきたいと思いません。

（齋藤笑樹）

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎  
「栄養マネジメント」】

秋といえば「食欲の秋」。秋は収穫の季節であり、一年の中で最も旬の食材が豊かです。

なぜ秋だけが食欲の秋と言われるのでしょうか。秋は、食欲をコントロールする「セロトニン」の分泌が減少するからです。セロトニンは別名「幸せホルモン」とも言われる脳の神経伝達物質で、食欲を正常に保つ働きがあります。このセロトニンは日光に当たる時間と比例しており、陽の光を浴びる時間が長



ハロウィンをテーマにしたデザートバイキング！

いと分泌量が増え、短いと減ると言われています。夏から秋に変わると日照時間が減るため、セロトニンの分泌量が減ります。太白ありのまま舎では、季節に合わせ旬の料理を提供させて頂いたり、デザートバイキングを行っています。コロナ禍で行動に制限がかかってしまう中で、食事を通して季節を感じて頂ければと思っております。

食事制限がある方、疾病の為に上手く食べられない方など様々な方がおられます。今後も食事を楽しくして頂けるように努めていきたいと思えます。

（阿部里菜）

【チャイルドケア  
仙台ありのまま舎保育園】

朝晩に冷え込むようになりました。木々も少しずつ紅葉し始め、秋の深まりを感じるとともに、一年がたつ早さに驚いています。

子どもたちの成長も目覚ましく、一人ひとりにあった関わりを皆で相談しながら繰り返し返してきた日々を懐かしく感じます。

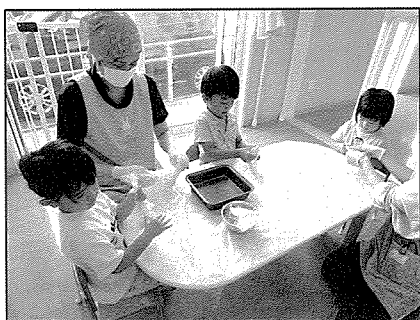
子どもは一人ひとり違うことは当然で、この子にはこの関わり方が良かったから、あの子にも通用するだろうとそう簡単に

はいきません。

毎年、毎日、やはり子ども一人ひとりにあった関わりが大切なのだと感じています。だから笑顔が見られるととても嬉しくて楽しいと思えるのです。

先月、お月見会をしました。毎年行っているのですが、昨年と違う内容に仕上がっては面白くない。しかし、年齢が低いので難しいものも伝わらない。先生方は沢山山積み、お話の仕掛けも工夫しました。当日、子どもたちはとても喜び楽しい会となりました。時間はかかりましたが、妥協せず準備して良かったなと感じた出来事でした。そしてやはり子どもたちの笑顔がたえない保育を大切にしていきたいと思えます。

（春日麻里）



お月見のお団子づくり！

業 務 内 容

社会保険や労働保険手続・助成金申請代理・会社設立・各種許認可申請・労働や経営相談 他

お気軽にご相談ください。

社会保険労務士・行政書士 須田事務所

〒981-0916 仙台市青葉区青葉町16-1・2階 TEL: 022-344-8620 FAX: 022-344-8621

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎  
（難病・障害者相談支援センター）】  
第6回目の相談者さんへの  
「インタビュー」はYさんにお  
聞きしました。

Yさんは、身体に障害を抱え  
ながらも就労継続支援B型事業  
所でお仕事を頑張っているらし  
やる五十代の男性です。何でも  
ご自身で行うことが好きで、ご  
自宅の庭の手入れだけではなく、  
事業所の花壇などもきれいに整  
備してくださる、とてもご家族  
思いの方です。

一、楽しみにしていること  
楽しみにしていることは、今  
はないと言いながらも、「孫の  
顔を見ること」が楽しみにな  
っているとのことでした。

二、頑張っていること  
夏場に「ガーデンング」を頑  
張っていたとのこと、ご自  
宅の庭の花をいじられたそう  
です。夏場の暑い時期に作業  
を行ったために、顔も腕もす  
っかり日に焼け、真っ黒にな  
っていました。

三、目標など  
今の目標は、「両ひざが痛い  
ので、治療を頑張ってやって  
いきたい」と話されていました。  
とても前向きに生活していて  
私も見習っていききたいと思  
う部分がたくさんあります。

(佐々木晃)

【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎  
（メディアカル）】

コロナ感染防止対策のため、  
様々な制約下での生活に対して  
当初は不満ばかりが先立ちまし  
たが、今は社会の流れが受容し  
た上での新しい生活スタイルの  
確立へとシフトされたように思  
います。大切なのは、感染症を  
正しく理解し基本的な予防対策  
を日々積み重ねていく継続力で  
はないかと考えます。巨理あり  
のまま舎では、太白ありのまま  
舎の方針に基づき、ゾーニング  
等の感染対策や定期的な勉強会  
を行い、全てのスタッフが基本  
的予防策の習慣化と実践化を目  
指して、努力を重ねています。  
嘱託医である三上医師のクリニ  
ックでは、発熱外来を有し、コ  
ロナ感染症対策を広く担ってお  
り、的確な情報やご指導を頂い  
ています。

これまで家族の感染のため、  
スタッフが濃厚接触者という立  
場になるケースは複数人おしま  
したが、幸いにもスタッフ本人  
及び同居者の感染は免れていま  
す。

終息の時期が予想できない現  
状、不自由を嘆くのではなく、  
今許される生活を健やかでより  
快適なものへ変えていけるよう  
工夫しつつ、適切な緊張感と危  
機感を持ち、スタッフ全員が心  
ひとつにこの難局を乗り切っ  
ていけたらと願っています。

(伊東良子)

【サポートケア県南ありのまま舎  
（難病・障害者相談支援センター）】

相談支援の現場では主に本人  
や保護者と関り支援しています  
が、生活支援を一緒に考えてい  
く上で気になる存在があります。  
それは面談時や訪問時にご本  
人や保護者の隣にいる「きょう  
だい」。自分が出ることはない  
かと理解を深めるべく、宮城県  
立こども病院お話しシリーズ『病  
気や障がいのある子どもへの支  
援』子どもが「子ども」でいら  
れるように』をZOOMで視  
聴しました。

講師であるNPO法人「しづ  
たね」は、治療室から出てくる  
家族を待合室で待つときやうだ  
いと一緒に時間を過ごすことから  
その歴史は始まり、これまでで  
ようだい自身が遠慮なく楽しむ  
場を提供したり、コロナ禍とな  
ってからはSNS等を活用し、  
きょうだいが思いを言葉にでき  
るような場やきょうだい同士が  
繋がる機会を提供しています。

きょうだいが抱える思いやライ  
フステージ毎に変化する悩みを  
学び、自分が出ることやメモ  
してみました。①きょうだいの  
名前を覚える、②きょうだいに  
声をかける、反応が冷ややかで  
も気にしないでやってみる、③  
話せないときは笑顔で手を振る。  
日頃の支援場面の中で実行して  
いきたいと思えます。(板橋政江)

【サポートケア巨理ありのまま舎  
基幹相談支援センター】

当センターの委託事業の一つ  
に、相談支援専門員のスキルア  
ップの向上を目指した事例検討  
を開催しております。事例提出  
者の立場やケースへの思いに寄  
り添いながら質疑応答をするこ  
とで事例提出者自身が気づきや  
新たな一面を見出すことも大切  
にしております。そのような過  
程を経ながらケース理解が深ま  
り、事例提出者がひっかかって  
いた課題が変化することも起こ  
ります。課題が明確になること  
で、その解決策も変化します。  
参加者一人ひとりによる効果的  
な質問がその要素となり、心身  
の状況、生活歴、母子関係、援  
助経過など様々な質問の視点  
(枠組み) から得られる臨床像  
の再構築と言えます。

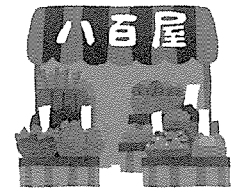
また、今年度から新たなセッ  
ションを設けました。質疑応答  
で集められた情報をもとに「ク  
ライアントはこんな人/こんな  
風に生きてきた人」を参加者と  
事例提出者が感想を言葉にする  
セッションです。臨床像の共有  
化を図ることで、ケース像と状  
況のなかで何が起きているのか  
を見立てるセッションとも言え  
ます。相談支援専門員一人ひと  
りがスキルアップの向上につな  
がるよう、今後も地域の相談支  
援体制の強化として取り組んで  
参りたいと思えます。

(菊地理)

生鮮食材専門店  
マルフネ商店(舟)



〒989-2324  
宮城県亶理郡亶理町逢隈高屋字高下106  
Tel/Fax 0223-34-5278  
〒989-2311  
宮城県亶理郡亶理町荒浜星30-4  
Tel/Fax 0223-36-0665





「ご支援頂きありがとうございます  
ございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】  
22 8/25〜9/24

フレッシュフードモリヤ  
長町店(太白区)  
10,767円

【バザー提供】  
22 8/25〜9/28

硬貨でいっぱいになりました  
カンパポトル交換作業の最中  
にも直接カンパを頂きました。  
お支えを肌で感じ、大変嬉しい  
気持ちになりました。  
(鈴木一彦)

ありがとうございました。

ポトルカンパありがとうございました  
ございました(敬称略)

ありのまま舎事務所  
(太白区) 15,001円

事務所前の廊下に設置させて  
頂いており、来訪された方々  
や入居者の方々に温かなお気  
持ちをお寄せ頂きました。

- 【バザー開催日の「案内」】
- 11月
  - 1日(火) ヨークベニマル山田鉤取店(太白区)
  - 3日(木) ヨークマルシェ大和町店(若林区)
  - 8日(火) ヨークベニマル南宮成店(青葉区)
  - 10日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば(宮城野区)
  - 15日(火) ヤマザワ茂庭店(太白区)
  - 24日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば(宮城野区)
  - 26日(土) ありのままショップセル(仙台ありのまま舎)
  - 29日(火) 袋原(向日葵ライフサポートセンター!太白区)

「ご協力ありがとうございます  
ございました(敬称略)」

【本部】  
◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様に感染症対策を取りながらお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台ホサナ教会の皆様に、感染症対策をとりながら教会内にてお手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセルの会場でも、準備や片付け等お手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】  
◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道)」など施設内で行う活動は感染予防対策のためお休みさせていただいております。少しずつ感染状況も落ち着く方向なのかと思います。このウィルスが感染しやすいことを忘れずに、入居施設内でのクラスターを発生させないように、予防対策を続けたいと思います。

(中村悦子)

ありのまま舎後援会(敬称略)

【個人会費】  
22 8/24〜9/15

【自販機販売設置支援】  
◆サントリービバレッジ  
8月分の売上の一部を「寄付頂きました。」  
こくみん共済coop  
宮城推進本部 1,832円  
ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア  
県南・亘理ありのまま舎)  
12,182円

【後援会員を募集しています】  
後援会員が年々減少しています。ありのまま舎活動を支えてくださる後援会員を募っています。

◆年間会費  
・個人会員 10,000円  
・法人会員 20,000円  
・賛助会員 3,000円  
※途中退会も可能です。

【お申し込み】  
会報「自立」に同封の郵便振替用紙に「後援会」とご記入ください。お気軽にお問い合わせいただければ幸いです。  
(担当 佐藤)

全国より「ご支援ありがとうございます」  
ございました。  
(事務局 佐藤環)



# かもめの王子奮戦記 —ある愛の物語—

蛭 大介◆作 常間 希世◆絵

蛭大介さんは東北大学医学部ご出身で、学生時代に当舎の創設者山田富也さんと出会い、その後医師を務める傍ら、童話作家としてご活躍されました。若くして難病を患い、既に他界されましたが、以前ご出版された童話集の中から「かもめの王子奮戦記」が出版されました。

30年前に書かれた童話ですが、戦争・病・天災と現在の世界情勢を物語っている様な一話で、弱者に対する思いやりと、それを取りまく四季の美しさが描かれています。

これまでありのまま舎では、蛭さんが手掛けた絵本を題材にしてありのまま車椅子劇団が演劇を行ったり、当舎で主催した「障害者自立読売絵画展」で入賞された方が絵を描いた絵本もありました。ぜひ多くの方のお読みいただければ幸いです。

注文・問い合わせ先 **ありのまま舎へ**  
TEL 022-243-1300



定価 1,980円 (送料300円)

1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)

「ありのまま舎運営協力寄付金」  
22 / 8 / 4 / 8 / 31  
(敬称略)